

# 町の更なる 2008

# 発展を目指して 新年にあたって



さつま町議会議長  
濱田 等



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、清々しい希望に満ちた新春をお迎えることと謹んでお慶び申し上げます。旧年中は町政の推進と町議会活動に対し、町民の皆様の温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。昨年、一昨年の7月に発生した未曾有の県北部豪雨災害から本格的復興に向けて、河川激甚災害対策特別緊急事業で356億もの巨費を投じての川内川の抜本的な改修がスタートしました。また、将来にわたって持続可能な行財政基盤の確立と地方分権型社会の確立を目指して計画的に行政改革が推進された年でもありました。議会におきましても、町民の皆様の付託に応えるべく4回の定例会は勿論のこと、3つの常任委員会や、行財政改革対策調査特別委員会、豪雨災害対策調査特別委員会など5つの特別委員会において積極的な活動を進めてまいりました。さつま町は、人口の減少や少子高齢化など多くの課題もありますが、一方で「自然」・「食」・「温泉」など全国に誇れる地域資源に恵まれており、個性と魅力あふれるまちであります。町民がふるさとを愛し、夢と誇りをもっていきいきと生活するために、総合振興計画の基本理念である「個性と協働で創造する豊かなまちづくり」の実現が求められております。本年も、町議会に対する更なるご理解とご支援をお願い申し上げます。平成20年が皆様にとって幸多い輝かしい年となることを心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。



さつま町長  
井上 章三



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平成20年の輝かしい新春を健やかにお迎えることと心からお慶び申し上げます。旧年中は、町政の様々な分野にわたりまして、町民の皆様が温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年、現下の地方行財政を取り巻く極めて厳しい環境の中において、地方分権の時代にふさわしい簡素で、効率的な行政システムを確立するために、行政運営全般にわたる総点検を行いながら、行財政改革を進めてまいりましたが、一昨年の災害による要因などを除きますと概ね計画どおりに進めることができたものと考えております。私も新町の舵取り役を仰せ付かりましてから本年がいよいよ仕上げの年でもありますことから、本年は「さつま町総合振興計画」を基本としながら「行財政改革の一層の推進」と喫緊の課題であります「川内川の抜本的な災害防止対策」を最重要課題に掲げ、河川激甚事業やダム再開事業について、被災地区住民のご意見やご要望を十分にお伺いしながら、抜本的改修に向けて不退転の決意をもって強力に推進してまいります。さつま町が抱えている課題は多いところですが、これからは町行政と町民の皆様が「自助、互助、公助」の考え方や仕組みを作りながら、町民の皆様と共に「共生・協働」の視点に立ち、まちづくりを進めてまいりたいと考えております。年頭に当たり、町政に倍旧のご支援とご協力をお願いし、本年が皆様にとりまして最良の年でありますように、ご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。